

社会医療法人大成会 福岡記念病院グループ



福岡記念 PET・健診センター
〒810-0054 福岡市中央区今川2丁目16番16号
(TEL) 092-739-0110
(FAX) 092-739-0212
(E-Mail) info@f-pet.jp
(HP) https://f-pet.jp



むらやま泌尿器科クリニック
〒814-0133 福岡市城南区七隈7丁目2番1号
(TEL) 092-874-0020
(FAX) 092-874-0021
(E-Mail) murayama@kinen.jp
(HP) https://kinen.jp/murayama/



福岡記念病院
〒814-8525 福岡市早良区西新1丁目1番35号
(TEL) 092-821-4731 (FAX) 092-821-6449
(E-Mail) info@kinen.jp (HP) https://kinen.jp/

Access & Map



総合案内

社会医療法人大成会
福岡記念病院



FUKUOKA KINEN HOSPITAL

Social Medical Care Corporation TAISEIKAI



『24時間
365日救急医療』





患者様中心の医療
 患者様の人格・権利を尊重します。
 診療内容を説明し、納得された
 医療を行います。

地域との積極的な連携
 医療連携を図り、
 地域の健康増進に寄与します。
 地域救急医療の中心的役割
 を担います。

適切な医療水準
 専門知識・技術の習得に努め、
 診療の質を高めます。
 根拠・医の倫理に基づいた
 チーム医療を行います。

地域住民が求める安全で信頼される医療を行う



黒田 康夫

社会医療法人大成会 理事長

永きに亘る地域の皆様ならびに医療関係者の福岡記念病院に
 対するご支援とご協力に対して衷心よりお礼申し上げます。

当院は昭和34年1月1日に開設いたしました。
 診療科目は36科目、病床数239床の一般病床の急性期病院であり
 大成会は福岡記念病院、福岡記念PET・健診センター、
 むらやま泌尿器科クリニックを運営しています。

病院は厚生労働省基幹型臨床研修病院、後期研修のための
 10学会の認定・専門医研修施設、又外国人医師に対する厚生労働省
 臨床修練病院です。地域医療支援病院、災害拠点病院、DPC対象病院、
 7対1看護、ICU・CCU6床、HCU12床・6床、移植の臓器提供病院
 でもあります。

今後更に教育医療機関として、また地域医療連携強化を図り、
 地域医療の担い手として努力していく所存です。

「地域住民が求める安全で信頼される医療を行う」という理念の背景には、医療者側からの一方通行の
 医療では決して患者さんを満足させることはできない、患者さんや地域住民の声を反映させた心の通った
 医療を提供するべきであるという思いが込められています。

今、私たち医療提供者が求められているのは、事故のない安全・適切な医療であり、患者さんの健康と
 生活を守り、安心して治療に専念していただける環境を整えることであると日々考えております。

ごあいさつ
 Greetings

当院は1959年に設立された大塚外科医院からスタートし、1965年に
 福岡記念病院として現在に至っております。病院の基本理念である
 「地域住民が求める安全で信頼される医療を行う」を念頭に、初代の
 大塚 量理事長から黒田康夫現理事長まで一貫して断らない救急医療を
 実行してきております。

239床の病院ですが、内科、外科、救急科、循環器内科、脳神経外科、
 整形外科、脊椎外科、心臓血管外科、麻酔科、泌尿器科、脳神経内科、
 耳鼻科、皮膚科、形成外科、放射線科、眼科、婦人科、小児科など
 急性期の患者様の全領域に対応出来る体制を取っております。

さらにこの体制を充実すべく、総合診療科、集中治療科、呼吸器内科の
 専門医による診療体制をとれるようになりました。2023年2月からは九州
 でも数少ない7mmの傷で脊椎の手術が出来る脊椎外科専門医が勤務する
 こととなり、近隣に限らず腰痛で苦しまれる多くの患者様に貢献できる
 体制を築きました。

看護部も7:1体制を一般病棟に準備し、さらに手厚い医療が必要な方や
 手術後の不安定な状態の患者様には集中治療室であるICUやHCUを備えて、
 多様な病状の患者様に対応出来る体制をとっております。

現代の医療は医師と看護師だけではなくリハビリテーションを担当する
 技師たちの役割が重要で、早期退院のための身体機能維持、そして障害された
 機能の早期回復に貢献しており、入院患者様を中心にリハビリテーションを
 行っており、必要な方では引き続き外来リハビリテーションも対応しております。

薬剤部は外来でも入院中でも患者様に薬の重要性、服薬方法など
 丁寧に指導を行っております。外来では最近の病院では珍しい院内処方
 を患者様の利便性の面から行っておりますが、もちろん院外処方にも対応
 しておりますので遠慮なくおたずね下さい。

当院の地域医療連携室は入院患者様の退院調整や転院先、さらには施設
 など広い範囲にわたり患者様のみならず御家族の不安を解消してくれる組織です。
 複雑な介護保険制度や社会保障制度にも精通しております。遠慮なくご活用下さい。

外来、受付医事課職員は皆様と病院を最初に結びつけてくれるいわば病院の顔に当たる部分です。
 現在、マイナンバーカードと保険証の連結など制度が変わってきたことで皆様にご迷惑をおかけすることも
 多々あるかと存じますが、病院のためにも叱咤激励して頂ければ幸いです。

2020年から世界は新型コロナウイルス感染症パンデミックに陥りました。当院も例外ではなく複数回の
 クラスタに襲われ、そのたび毎に全職員の力と工夫で感染症に取り組んで参りました。
 報道でご存じのように数年後には新しい福岡記念病院への移転も決まっております。
 それまでは不自由をおかけすることもありますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

我々は常に変化に対応出来る柔軟性を備えた病院でありたいと考えております。
 その目的は地域の皆様に安全で安心できる医療を届けるために何をなすべきかを考え続けているからです。
 今後ともよろしくお願い申し上げます。



上野 高史

福岡記念病院 病院長

社会医療法人大成会 福岡記念病院

所在地 〒814-8525 福岡市早良区西新1丁目1番35号
 (TEL) 092-821-4731 (FAX) 092-821-6449 (E-Mail) info@kinen.jp (HP) https://kinen.jp
 開設日 1964年4月1日 医療法人大成会 設立 (2008年11月 社会医療法人に認可)
 開設者 黒田 康夫
 病院長 上野 高史
 診療科目 救急科、外科、整形外科、脳神経外科、心血管外科、血管外科、内科、循環器内科、消化器内科、小児科、感染症内科、糖尿病・内分泌内科、消化器外科、脳神経内科、呼吸器内科、大腸・肛門外科、肝臓内科、肝臓外科、脊椎・脊髄外科、婦人科、乳腺外科、呼吸器外科、泌尿器科、皮膚科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、リウマチ科、精神科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科・歯科口腔外科
 病床数 239床：一般病棟4病棟（7対1・215床）、ICU・CCU6床、HCU12床・6床
 従業員数 671名（2023年3月現在）
 建物概要 [本館] 鉄筋コンクリート造 7階建、総延床面積 6,454㎡
 [南館] 鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階、相延床面積 4,663㎡
 [リハビリ棟] 8階建、延床面積 2,693㎡
 [リニアック棟] 5階建、延床面積 1,058.24㎡
 施設認定 地域医療支援病院、救急告示、福岡県 DMAT 指定医療機関、福岡県災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、労災保険、臓器提供病院、開放型病院、救急救命士研修施設、生活保護、原爆医療、結核指定、DPC 対象病院、各種がん検診精密検査機関、外国人患者受入れ医療機関、ジャパン インターナショナル ホスピタルズ（日本国際病院）
 設備 レクセルガンマナイフ、MRI（3.0T、1.5T）、リニアック装置、マルチスライス CT（80列、320列）、血管撮影装置、電子内視鏡、体外衝撃波結石破碎装置、高気圧酸素治療装置、電子カルテ、PACSシステム、図書室、研修室、診療情報管理室、地域医療連携室、DI室、PET-CT（サイクロトロン使用による自家製剤運用）など
 その他 福岡記念 PET・健診センターを併設、インドネシア人・フィリピン人・ベトナム人 看護師候補者受入れ機関

福岡記念 PET・健診センター

所在地 〒810-0054 福岡市中央区今川2丁目16番16号
 (TEL) 092-739-0110 (FAX) 092-739-0212
 (E-Mail) info@f-pet.jp (HP) https://f-spet.jp
 開設日 2007年11月1日
 開設者 黒田 康夫
 施設長 吉開 友則
 診療科目 内科、放射線科、消化器内科、産婦人科

むらやま泌尿器科クリニック

所在地 〒814-0133 福岡県福岡市城南区七隈7丁目2番1号
 (TEL) 092-874-0020 (FAX) 092-874-0021
 (E-Mail) murayama@kinen.jp
 (HP) https://kinen.jp/murayama/
 開設日 2004年10月 むらやま泌尿器科医院として開業
 開設者・院長 村山 眞
 診療科目 泌尿器科、内科



日本医療機能評価機構認定病院
 一般病院2・救急医療機能



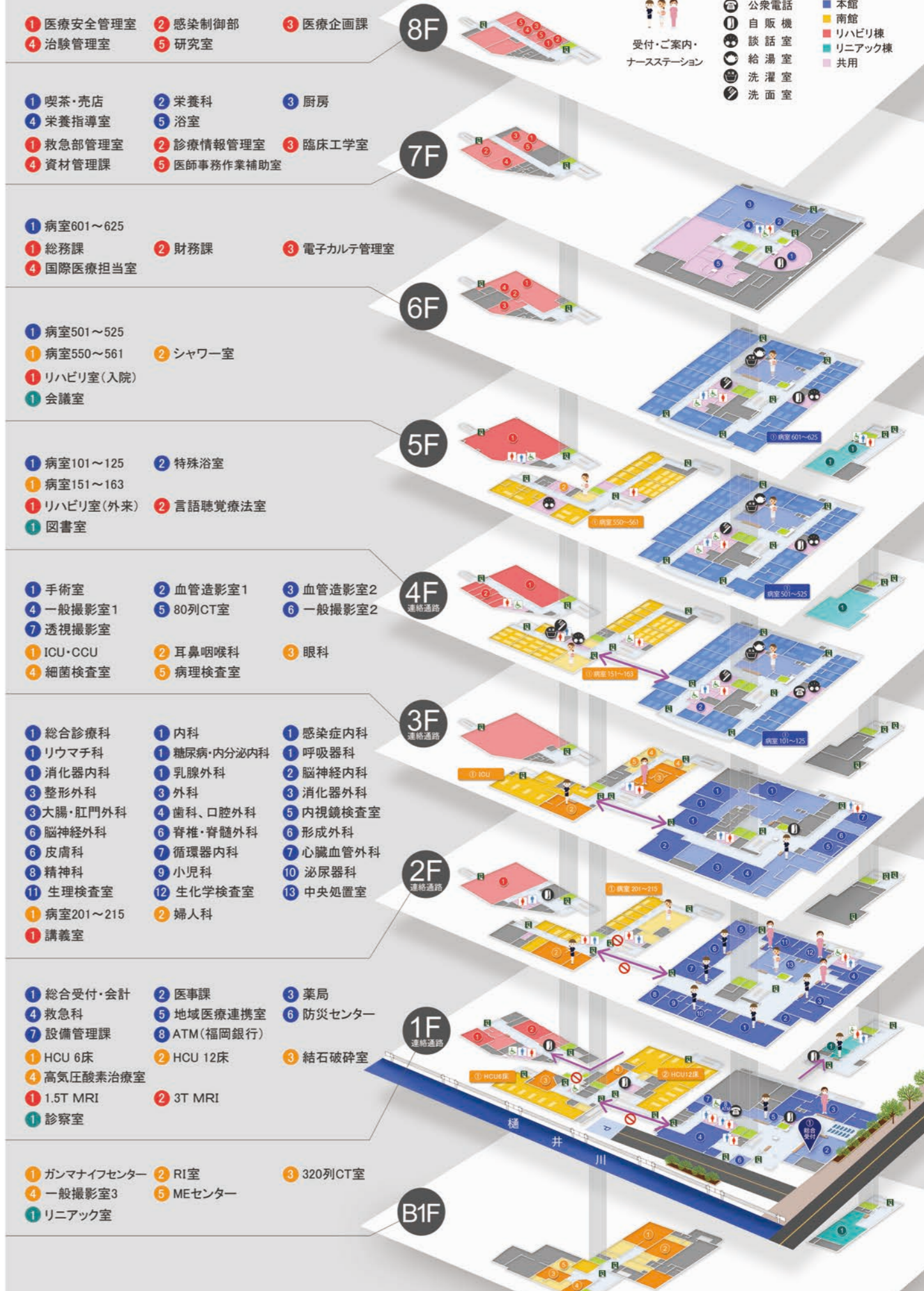
外国人患者受入れ医療機関
 認証制度 (JMIP) 認証病院



ジャパン インターナショナル
 ホスピタルズ

福岡記念病院について

About Us



重症、軽症を問わず、先ず診療を

当院は年間約 6,000 件超えの救急車を受け入れ、地域救急医療の中心的役割を担っています。救急外来部門は一般の外来診療部門からは独立して設置しており、トリアージ、処置、検査、診察、観察、処置的小手術等に対応できる広いスペースを確保しています。また、血液化学検査、放射線検査、生理検査、手術が迅速かつ適切に行える配置にしています。緊急手術は無菌手術室を含み4手術室を所持し、専門医が迅速に診療に対応できる体制をとっています。また、ICU 6 床、HCU 18 床を設置し、重篤患者さんを優先して受け入れられるよう空床確保に努めています。専属の医師・看護師を中心として、院内各科各部門の連携により、安全で最適な医療を提供しています。また、福岡県医療計画の二次救急医療をはじめ、輪番制救急医療、さらには災害発生時の医療受け入れ等も行っています。

365日 24時間態勢で臨む救急医療

当院は、1967年2月に救急告示病院として認可を受け、以来福岡市の救急医療の中心的存在として、地域住民の皆様がいつでも安心して診療が受けられる環境作りに取り組んでまいりました。救急医療の原点でもある「重症、軽症を問わず、先ず診療を」を基本として、365日24時間態勢で診療にあたっています。



24 hours
365 days

専門医オンコール体制



当院では休日や時間外でも、必要に応じて各診療科の専門医にすばやく連絡できる「専門医オンコール体制」をとっています。当直医だけでなく専門医による診療・検査・手術がいつでも可能です。

当院救急当番

外科二次当番	内科二次当番	土曜夜間内科二次当番
福岡市救急病院協会	福岡県私設病院協会	福岡市医師会
休日 8:30 ~ 翌 8:30	平日 19:30 ~ 翌 7:00 休日 9:00 ~ 翌 8:00	土曜 18:00 ~ 翌 8:00

TEL 092-821-4731 FAX 092-821-6449

他の医療機関からのご紹介患者さんについては、必要に応じて当院専用の救急車がお迎えに参りますのでご相談ください。



医療は日々進歩し、専門性を増すにつれて細分化していきます。加えて、患者さんのニーズもまた多様化し、もはや担当医ひとりだけでは応えられない時代が来ています。このような状況に対応し効果的な治療を行うため、当院では担当医だけでなく必要に応じて他科の専門医が介入して治療にあたる態勢をとっています。これにはコ・メディカルの活躍も重要です。たとえば、最新の医療機器を十分に活用するにあたっては、その分野に特化した知識と経験を持つ放射線技師や臨床工学技士などの技量に負うところが大きいでしょう。こうした病院内36診療科の専門医たち、さまざまな機器を使いこなすコ・メディカルスタッフ達、そして栄養士や調理師といった専門家同士がチームを組んで一人ひとりの患者さんの治療にあたるのが、当院が掲げる機能分化とチーム医療なのです。

様々な医療活動

Other Medical Activities



私たちは様々な委員会やチームなどの活動を通して医療従事者としての研鑽に努め、患者さんにより安全で安心な医療の提供を目指しています。



国際医療(外国人患者受入れ)

当院の国際医療担当室では、国籍や宗教、個人的背景、病気の内容に関わらず、公平かつ適切な治療が受けられる環境の構築に努めています。平等な医療を確保するための取り組みの一環として、英・中・韓・ネパール・ヒンディ・タガログ・インドネシア・ウルドゥ語等、20言語以上の医療通訳を提供しています。



救命救急講習

患者さん等の急変時に適切に対応できるように、全職員を対象に心肺蘇生法(CPR・AED)講習を定期的実施しており、最新の情報に基づいた迅速かつ確な救急処置ができるように努めています。また、心肺蘇生法の中に緊急時対応模擬演習を盛り込んで、より実践的な対応訓練を実施しております。



医療安全管理

私たちは医療安全の感性を高め、安全・安心の医療を提供できるように活動しています。各部署から報告されたインシデントを調査・分析および対策検討し、委員会を開催して院内で情報共有できるよう努めています。多職種から構成されたメンバーで院内ラウンドを行い、様々な視点で医療安全対策の実施状況を評価し、各部署の安全対策推進活動を支援しています。



福岡西部地区医療連携講演会

定期的に、地域の医療機関を対象に「福岡西部地区医療連携講演会」を開催しています。職種を問わず参加が可能で、専門的な医療の知識を学びながら他の医療機関・施設との連携を深める場としています。また、地域住民の皆様に向けて「健康講話」を開催して医療専門職の職員が講演し、健康増進にお役立ていただいています。



DMAT(災害医療派遣チーム)

DMAT(災害医療派遣チーム)とは、災害急性期に被災地へ駆けつけ、医療活動を展開する機動性を備えた専門的研修・訓練を受けた医療チームの略称です。当院は災害拠点病院として、2014年からDMATの編成、隊員養成、災害地派遣等を実施しております。主な派遣実績として、2016年の熊本地震、2018年の広島豪雨及び2020年の熊本豪雨での災害地派遣活動があります。



院内感染対策

院内で発生する感染症を未然に防ぎ、発生した感染症を早期に制圧することを目的とし、院内の多職種メンバーからなる感染対策チームとともに組織横断的に関わり、外来・入院患者さんは勿論、ご面会のご家族、病院への訪問者、職員など病院に関わるすべての方を感染症から守るための活動をしています。



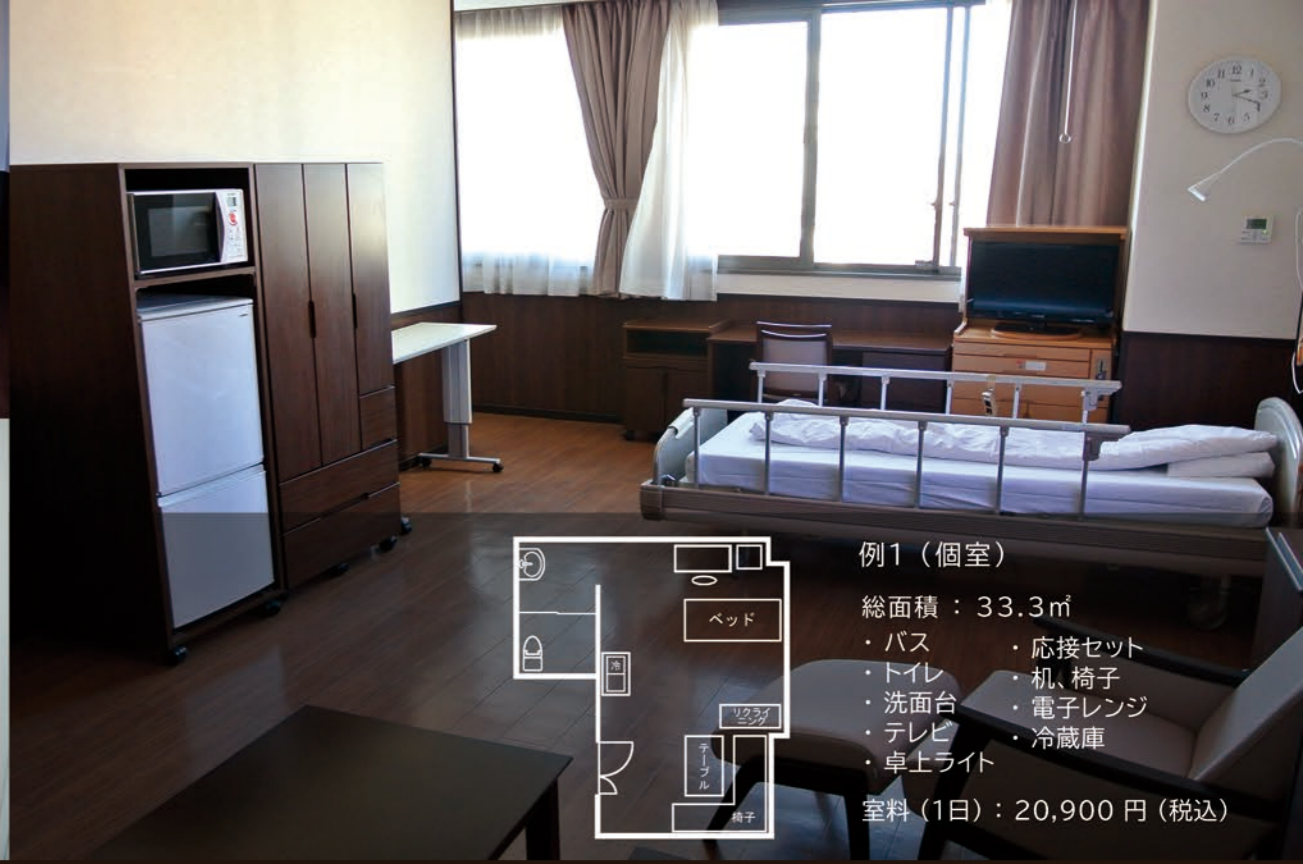
被留置者への医療活動

早良・中央・西・城南・南の各警察署と拘置所、福岡刑務所からの医療委託を受け入れています。来院が困難な場合などは、チームを編成し各所へ出張も行います。他の医療機関では、受入れ困難な被留置者への医療提供を行うことで、少しでも社会復帰への役立てとなればと考えています。



研修医の育成

卒業後の2年間の臨床研修は、プライマリ・ケアに必要な基本的診療能力(態度、技能、知識)を身につけることが求められ、医師としての基礎を習得するための重要な期間になります。当院では、各科専門医が充実しており、医局も指導医から研修医までがひとつの部屋であるため、各科の指導医へ気軽に質問したり、各科の医師と横断的なディスカッションを行うことができます。



例1 (個室)
 総面積：33.3㎡
 ・バス
 ・トイレ
 ・洗面台
 ・テレビ
 ・卓上ライト
 ・応接セット
 ・机、椅子
 ・電子レンジ
 ・冷蔵庫
 室料 (1日)：20,900 円 (税込)

病室紹介 Hospital Beds

※ 写真はイメージです。
 ※ 入院後の病室の変更につきましては、各病棟師長にお申し付けください。
 ※ 救急告示病院のため、ご希望に添えない場合がございます。
 ※ 付き添いの方の病室宿泊は原則不可です。
 ただし、小児科につきましては個室に限り例外的に付き添いが可能です。
 ※ 備え付けのテレビを視聴するには有料のテレビカードが必要です。
 個室以外でのお部屋ではイヤホンをご用意ください。



個室



総面積：20.92~21.91㎡
 室料 (1日)：16,500 円 (税込)



個室



総面積：24.9㎡
 室料 (1日)：13,200 円 (税込)



個室



総面積：12.6~16.55㎡
 室料 (1日)：11,000 円 (税込)



個室



総面積：12.7~13.0㎡
 室料 (1日)：8,800 円 (税込)



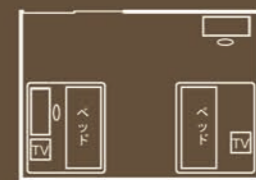
個室



総面積：9.51~9.82㎡
 室料 (1日)：8,800 円 (税込)



2人部屋



総面積：15.1~23.2㎡
 室料 (1日)：3,850 円 (税込)



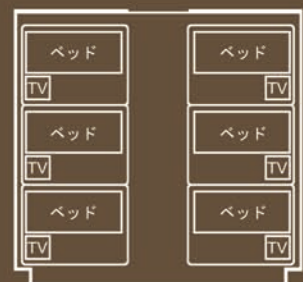
4人部屋



総面積：26.3~34.1㎡
 室料 (1日)：1,650 円 (税込)



6人部屋



総面積：33.3㎡
 室料は発生しません。